

コンクリート主任技士試験 演習問題 正解と解説

正解 (4)

硬練りコンクリートのスランプ試験は、コンシステンシーを鋭敏に表すとはいえない。また、スランプ値は重力によるコンクリートの変形を示すもので、振動締め固めのような強力な加速度を受けたときの性状を必ずしも反映するとはいえない。

振動台式コンシステンシー試験は、このようなスランプ試験の欠点を補うために考案されたものである。この試験方法は、硬練りコンクリートのコンシステンシーをコンクリートが締め固められるのに要する振動時間を測定し、これを秒で表して、沈下度で評価する。フレッシュコンクリートの降伏値および塑性粘度が大きくなると、振動時間は増大する。

コンクリート技士試験 演習問題 正解と解説

正解 (2)

検査は、良いか悪いかの判定を行うだけであり、試験の回数や精度を高めても品質が向上するものではない。品質は工程でつくるものである。